

高等学校における道德教育

主題名 共に「いのち」輝く社会を築く

資料名 「乳がんと診断されて」（出典「明日への扉Ⅱ」 千葉県教育委員会）

学校名 千葉県立九十九里高等学校

指導者名 行方 綾美

1 学習指導案

高等学校 1年1組 道德学習指導案

平成29年11月6日（月）6校時

(1) 主題名

共に「いのち」輝く社会を築く

(2) ねらい

重い病気と闘う主人公の心を支え続けた家族と周りの人々の「愛」。それに感謝する主人公の姿を通して、「人は一人では生きていけない、関わり合い、支えあって生きている」ことを再確認し、思いやりの心で人を支えようという態度と、感謝の心をもってその思いに応えようとする態度を養う。

(3) 主題設定の理由



命の期限を告げられ動揺する主人公ではあるが、なんとか現実を受け止めようとしている。しかし主人公は、つらく孤独な闘病に何度もくじけそうになる。それを支えたのは、いつもと変わらぬ愛情を注いでくれた家族と周りの人々の存在だった。

時に人は「自分一人で生きている」ということが「自立」であるという錯覚にとらわれがちである。よいときは周りを顧みず自分本位になり、感謝の気持ちも忘れがちになる。一方で、悪いときは孤独感にさいなまれ一人もがき苦しむ。しかし、よい時も悪い時も自分を支えてくれる人がいて、他との関わりがなければ自分の存在がないことに気づけば、互いに喜び合い、苦しみを理解し合うことができる。「生きていること」はすなわち「生かされていること」と知るのである。

生徒の実態から、誰かの支えになる、そして支えられて生きているという実感を持ち、歩んでいく人生のすばらしさに気づかせ、そのことに感謝し、人の思いに応えようとする心を養わせたいと考え、本主題を設定した。

(4) 展開

過程	学習活動と主な発問	予想される反応	教師の支援
導入 (5)	1 テーマの提示 ●テーマを聞き、「いのちの期限」について考える。 ●教師の質問を聞いて、自分の考えを発表する。 ・発表中の友人の話聞く。 ●教師の説明を聞く。	・「こわい…」 「やり残したことがある」など『自分自身』に関する答えが多くを占め、「父母はどう思うだろう」「友達が悲しむ」など『家族』『友達』に関する答えもいくつか出るかもしれない。	・授業のテーマを伝える。 ・生徒へ次のように質問をする。 「あなたがもし『がん』になり、『命の期限』が告げられたら、どんな気持ちになりますか。」 ・この後、読む教材についても触れ、現実に起こりうることだと説明する。
展開 (30)	2 内容の把握 ●教師の説明を聞く ●教師の範読を聞く。	・教師が読み進めるにつれ、生徒が内容に引き込まれる。	・これから読むのは、乳がんと診断された女性の手記であることを告げる。 ・教師が範読する。(1 ページ目までを読む。2 ページ目は隠しておく。) ・内容に入り込める雰囲気をつくる。

	<ul style="list-style-type: none"> ●書かれている内容を確認する。 ●自分の考えをまとめる。 <p>3 考察を深める</p> <ul style="list-style-type: none"> ●教材に書かれた内容を考えながら、質問の答えを考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・同情，驚嘆，共感などが考えられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・内容の確認 『命の期限』を告げられた主人公の反応をおさえる。 (おそらく導入の生徒の考えと一致する。〈共感〉) ・生徒へ次のように質問をする。 「主人公の『がん闘病』について、どんなことを感じましたか。」 ・生徒を指名して発表させる。 ・他にも彼女が最後までがんばれた理由などを質問として用意しておく。 ※「5年間の闘病生活を終え、『最後までよく、がんばった!』という主人公の気持ちをおさえる。 ※また、支え合いは病気の時だけではなく、いつでも日常的に行われていること、人はいつでも支えあって生きているということを説明する。
<p>終末 (15)</p>	<p>4 まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●教師の質問を聞く。 <ul style="list-style-type: none"> ●ワークシートに、気がついたことを記入する。 ・どんなことに気づいたか、教師の指示を聞き、発表する。 ・ワークシートの記入に際して不明な点は教師に質問する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃、お世話になっている人の名前や人の名前が挙がる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートを配付する。 ・生徒へ次のように質問をする。 「あなたを支えてくれる人は誰ですか。支えてあげたい人は誰ですか。」 ・ワークシートに記入させる。 ・生徒を指名して発表させる。 ※内容は机間指導で確認し、本人の了承のもとに発表する。 ・授業の内容を簡単に振り返り、まとめをする。

(5) 他の教育活動との関連

本校では1学年のLHRを利用した道徳の時間が年間に10時間設定されている。オリエンテーションや授業の説明の際にアンケート調査を実施し、その実態を踏まえた領域の選定を行っている。九十九里町という地域性も考え、今年度は地域と連携した防災教育にも取り組んでいる。また交通安全講話、薬物乱用防止講話等を学期末に実施し長期休業中の生活指導も含めた多角的な視点から道徳教育を行っている。学校での教育活動全般が、更には地域と係るプログラムの全てが道徳教育に繋がっていくものと考え、今後も本校の道徳教育の更なる発展と充実を目指していく。

2 事後検討会

(1) 授業記録

T 今日の道徳は命について考える時間です。1学期に皆さんにこんな話をしました。1学期は健康診断がたくさんあります。めんどくさいと思うかもしれないけど、大事な検査だから休まないように。先生の従姉妹が今年の1月に会った時は9月に赤ちゃんも産んで元気だったのに

急にガンが分かって先月、手術もしました。まだ闘病中で大変な思いをしています。健康診断は病気を見つける大切なものだからちゃんと受けましょうという話でしたね。

T もし、皆さん自身がガンになったら、ましてや命の期限まで告げられたらどんな気持ちになりますか？ワークシートの①に書いてみよう。

S ショックを受けて立ち直れないと思う。

S 生きた心地がしない。信じられない。

S 残りの人生を楽しもうと思う。

T 今日はガンの中でも乳ガンになった方の手記を皆と読んでいきたいと思います。まる読みで1人ずつ順番に読んでみよう。

T 主人公の「ガン闘病」についてどんなことを感じましたか？

S 女性だから髪が抜けてしまうのはとても辛いのではないかと思った。

S 自分だったらこんな辛い治療に耐えられないと思う。

T あなたを支えてくれる人は誰ですか？支えてあげたい人は誰ですか？ワークシートに記入しましょう。

(2) 授業の感想

(生徒の感想)

- ・ガンにはなりたくない。
- ・今、生きていることがとても幸せなことだと思った。
- ・生きていくための「支え」の大切さを知った。
- ・5年間という期間を聞いてだけで気が遠くなった。
- ・副作用で髪が抜けるのは男性でもいやだと思う。
- ・考えただけで、頭の中が真っ白になる。
- ・支えてくれる人、応援してくれる人の大切さを知った。

3 本事例の活用に関する留意点

(1) 生徒への配慮について

生徒の中に本時例と同じように近親者を亡くした生徒がいる場合、題材の扱い方や指導前後のケアが必要になってくる。

(2) 生徒の言語活動について

授業では質問に対し、すぐに意見が返ってくる場合もあるが、発問してから生徒が意見をまとめたり、発表のための心構えを作ったりする時間を設けられると、活発な意見交換につながる。また生徒が考えるための時間を静粛にすることで、授業の緊張感が高まると同時に、本事例の重みや命の大切さが生徒に浸透していくことに繋がる。

生徒相互の言語活動を通して、一人一人が自らの考えを深め、自分の生き方をより充実させるにはどうしたらよいか、考えていくきっかけを得ることができる。